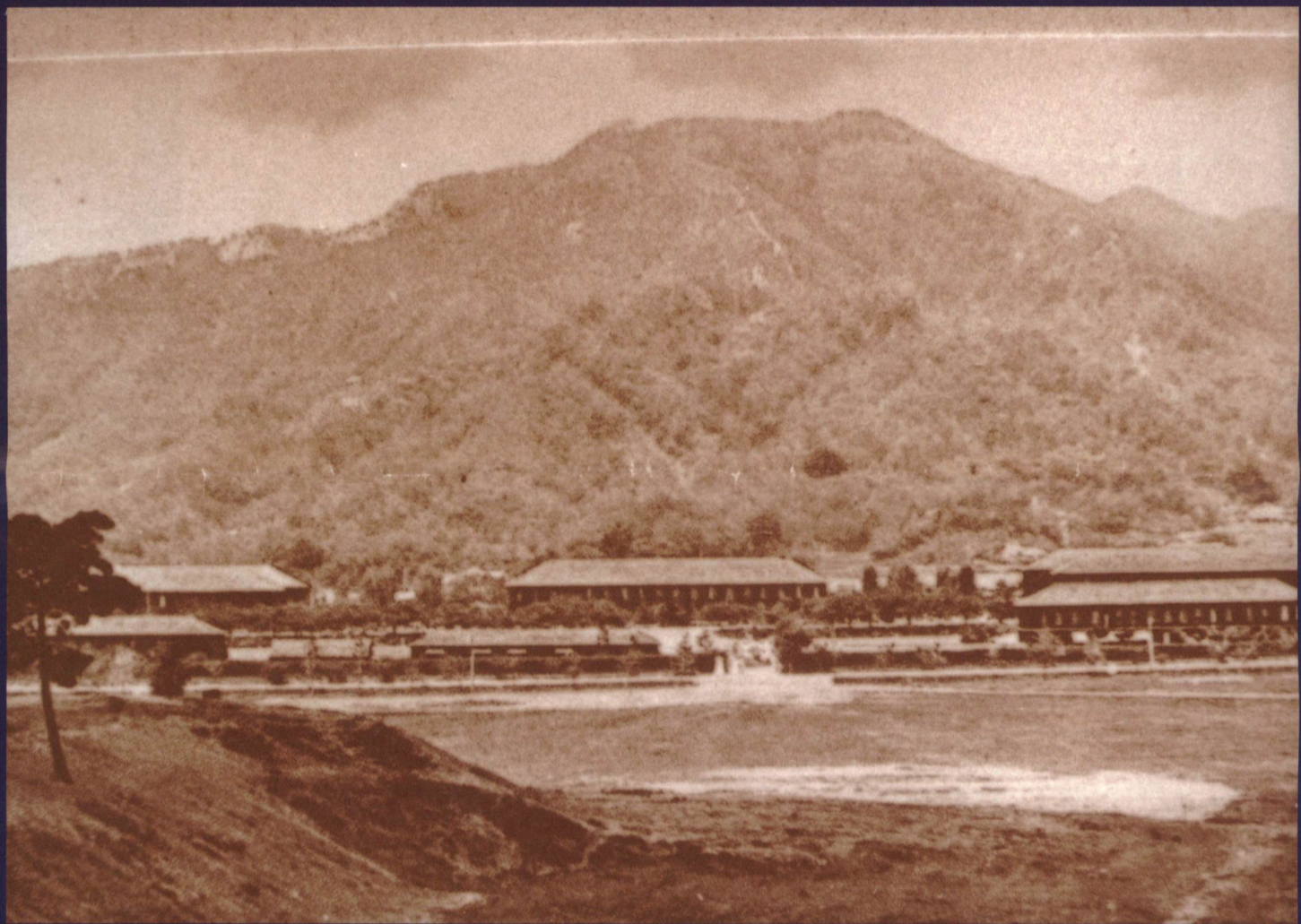


六篠会報

—神戸大学農学部創立50周年記念特別号—

No.13

発行／神戸市灘区六甲台町1 神戸大学農学部内 りく そう かい 六篠会 (神戸大学農学部同窓会)
連絡用FAX: 078-881-2752 E-mail : rikusou@ans.kobe-u.ac.jp



盃山を背にした兵庫農科大学全景

C · O · N · T · E · N · T · S

「六篠会会長挨拶」新家 龍……………2	50年が経過して、卒業生は今一支部の便り……………6
「神戸大学農学部創立50周年を迎えて」加藤 征史郎……………2	六篠会の支部設置及び運営に関する規定……………7
「六篠会50周年の歩み」西川 欣……………3	「篠山今昔」岡澤 秀晃……………8
「六篠会記念事業骨子固まる」王子 善清……………4	平成9年度同窓会報告……………9
農学部創立50周年記念事業の日程・会場・内容等……………4	平成9年度決算報告書・平成10年度予算……………9
「農学部創立50周年記念講義のご報告」辻 荘一……………4	神戸大学農学部教官現員表……………9
「農学部50周年記念講演会について」団野源一……………5	同窓会名簿住所等変更者……………10
「発祥の地(篠山)における学術講演会開催のお知らせ」 山本博昭……………5	不明者一覧……………11
	寄付者名簿……………12

六篠会会長挨拶



新家 龍

はじめに

創立50周年を迎えて

六篠会の皆様には益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。日頃は六篠会の発展のためにご尽力頂いております。既にお手元にお送りしております神戸大学農学部創立50周年の「記念事業趣意書」にありますように、来る平成11年5月には創立50周年を迎えることとなります。

昭和24年篠山の地に創設された兵庫県立農科大学は、昭和27年に兵庫農科大学と名称変更され、昭和41年には神戸大学への年次の国立移管が開始され、神戸大学農学部となりました。振り返れば、学科及び講座増設、兵庫農科大学短期大学の併設、国立移管に伴う新学科編成、さらに神戸大学における大学院修士課程並びに博士課程の設置等々、めざましい発展がありました。この50年にわたる発展の歴史に足跡を残された教職員をはじめ関係各位のご尽力に改めて感謝と敬意を表したいと思います。

昭和24年篠山の地に創設された兵庫県立農科大学は、昭和27年に兵庫農科大学と名称変更され、昭和41年には神戸大学への年次の国立移管が開始され、神戸大学農学部となりました。振り返れば、学科及び講座増設、兵庫農科大学短期大学の併設、国立移管に伴う新学科編成、さらに神戸大学における大学院修士課程並びに博士課程の設置等々、めざましい発展がありました。この50年にわたる発展の歴史に足跡を残された教職員をはじめ関係各位のご尽力に改めて感謝と敬意を表したいと思います。

このように益々発展しておりますことを皆様とともに喜びたいと思います。唯、六篠会会員の中には、卒業後の農学部の学科・講座編成や名称等の変更があつて、自分の専攻した学科や研究室が直ぐに分らないと云う声があります。今回、このことを解消する一助として、過去の経緯が分かる冊子を作成し、会員の皆様に配布する準備を進めております。どうかわが農学部の発展を見守り、益々のご援助とご協力を頂きますようお願いする次第であります。

六篠会支部活動について
これまで、六篠会の支部として、兵庫県の「県六篠会」、神戸市の「K O B E 六篠会」及び酒類関係の「延喜会」があり、それぞれ活発な活動が続けられてきました。さらに、平成10年7月11日に「六篠会関東支部」の設立総会が開催され、正式に発足致しました。これに加えて最近畜産学科・応用動物学科の卒業生の会「六篠Z会」が神戸市で開催されました。こ

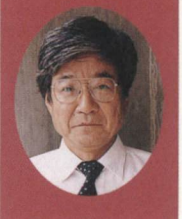
の六篠Z会から50周年記念事業会へ金一封が寄付されております。今後、神戸大学の農学部支部、熊本を中心とした九州支部など各支部の活動を通じて六篠会本部との繋がりを密にし、六篠会会員相互の情報交換、親睦を一層深める機会が多くなることを期待しております。

おわりに
今回の六篠会会報は、来る平成11年5月の神戸大学農学部創立50周年に関する記念事業の内容を中心として編成されております。つきましては、募金活動の目標額を達成することが何よりも大切であり、且つ農学部と六篠会の将来の発展のために是非必要であると考えております。どうか会員各位のさらなるご協力を重ねてお願い申し上げます。終わりに、会員各位の益々のご発展とご健勝を祈念しつつご挨拶と致します。

神戸大学農学部は、平成11年をめでたく創立50周年を迎えることになりました。一口に50年といひましても、昭和24年、多紀郡篠山町に兵庫県立農科大学として開学して以来のことですから、その道程が決して平坦でなかったことは容易に想像できます。農科大学開学の前後の様子や、昭和41年に始まり44年に完了した国立移管に至るまでの経緯は、20年の足跡を記録した「兵庫農科大学史」に詳しく記述されていますが、当時の社会状況に照らしてみると、それらがいかに壮大で、困難な事業であったかを知ることができません。その後、息つく間もなく、昭和47年に大学院農学研究科が、また昭和56年には農・工・理学部を母体とする大学院自然科学研究科が設置されました。平成5年には農学の進展や社会環境の変化に対応すべく農学部が改組され、平成6年には農学・理学・工学研究科を改組・統合して、あらたに自然科学研究科博士前期課程が設置されました。そして現在、自然科学研究科の第二次改組が進行中です。このように、本学部は、創立以来着実に発展

神戸大学農学部創立50周年を迎えて

農学部長 加藤征史郎



しつづけてきました。そのすべては、先輩諸先生方の血の滲むようなご努力と六篠会会員の皆様のご理解、ご支援の賜であり、心から感謝いたします。

創立50周年は、学部にとつて大きな節目です。私どもは、この節目を皆様とともに慶び、厳粛かつ盛大に祝いたいと考え、昨年度当初から六篠会の記念事業会とともに準備を進めてきました。企画した記念事業の内容は、別稿に詳述されていますが、当時の社会状況に照らしてみると、それらがいかに壮大で、困難な事業であったかを知ることができません。その後、息つく間もなく、昭和47年に大学院農学研究科が、また昭和56年には農・工・理学部を母体とする大学院自然科学研究科が設置されました。平成5年には農学の進展や社会環境の変化に対応すべく農学部が改組され、平成6年には農学・理学・工学研究科を改組・統合して、あらたに自然科学研究科博士前期課程が設置されました。そして現在、自然科学研究科の第二次改組が進行中です。このように、本学部は、創立以来着実に発展

しつづけてきました。そのすべては、先輩諸先生方の血の滲むようなご努力と六篠会会員の皆様のご理解、ご支援の賜であり、心から感謝いたします。

その第一は、教官人事のことです。私は、学部の質あるいは学部の優劣は、もっぱら教官一人ひとりの働き、つまり教育と研究の成果によつて決まると信じています。したがつて、有望な学生や若手教官には勉強や研究に好適な環境や海外留学の機会をできる限り提供し、世界に通用する研究者に育つてもらわなければなりません。しかし、人事の際に適任者がいないとなれば、躊躇することなく外国を含む学外に人材を求めなければなりません。人事は慎重に、しかし迅速に決める必要があります。すでに学部国際交流委員会と交流実績のある先生方の努力によりワシントン州立大学および中国農業大学との間で姉妹校提携が結ばれていましたが、今年度になってプロブディフ農業大学(ブルガリア)との提携も成立し、留学生も何人か来日しています。今後はベトナムおよびフィリピンの大学との提携を予定しております。現在交渉中です。さらに、最近の目新しい動きとして、自然科学研究科では農学部の教官が中心になつて、外国人留学生のための特別コースが計画されてい

の推進です。国際協力事業団(JICA)が主催する3つの集団研修コースに協力し、それぞれのコースで開発途上国の若手研究者を毎年7、8名受け入れていることは、よくご存知だと思います。この受け入れは、本学部の国際貢献の代表例として自画自賛する目玉商品の一つとなっております。他方、外国の大学と協定を結び、学生や情報を交換したり、共同研究を行うことは、国際都市神戸にある農学部としては当然のことであり、また本学部の個性化を推し進めるための一つの都合の良い方策でもあります。すでに学部国際交流委員会と交流実績のある先生方の努力によりワシントン州立大学および中国農業大学との間で姉妹校提携が結ばれていましたが、今年度になってプロブディフ農業大学(ブルガリア)との提携も成立し、留学生も何人か来日しています。今後はベトナムおよびフィリピンの大学との提携を予定しております。現在交渉中です。さらに、最近の目新しい動きとして、自然科学研究科では農学部の教官が中心になつて、外国人留学生のための特別コースが計画されてい

の推進です。国際協力事業団(JICA)が主催する3つの集団研修コースに協力し、それぞれのコースで開発途上国の若手研究者を毎年7、8名受け入れていることは、よくご存知だと思います。この受け入れは、本学部の国際貢献の代表例として自画自賛する目玉商品の一つとなっております。他方、外国の大学と協定を結び、学生や情報を交換したり、共同研究を行うことは、国際都市神戸にある農学部としては当然のことであり、また本学部の個性化を推し進めるための一つの都合の良い方策でもあります。すでに学部国際交流委員会と交流実績のある先生方の努力によりワシントン州立大学および中国農業大学との間で姉妹校提携が結ばれていましたが、今年度になってプロブディフ農業大学(ブルガリア)との提携も成立し、留学生も何人か来日しています。今後はベトナムおよびフィリピンの大学との提携を予定しております。現在交渉中です。さらに、最近の目新しい動きとして、自然科学研究科では農学部の教官が中心になつて、外国人留学生のための特別コースが計画されてい

の推進です。国際協力事業団(JICA)が主催する3つの集団研修コースに協力し、それぞれのコースで開発途上国の若手研究者を毎年7、8名受け入れていることは、よくご存知だと思います。この受け入れは、本学部の国際貢献の代表例として自画自賛する目玉商品の一つとなっております。他方、外国の大学と協定を結び、学生や情報を交換したり、共同研究を行うことは、国際都市神戸にある農学部としては当然のことであり、また本学部の個性化を推し進めるための一つの都合の良い方策でもあります。すでに学部国際交流委員会と交流実績のある先生方の努力によりワシントン州立大学および中国農業大学との間で姉妹校提携が結ばれていましたが、今年度になってプロブディフ農業大学(ブルガリア)との提携も成立し、留学生も何人か来日しています。今後はベトナムおよびフィリピンの大学との提携を予定しております。現在交渉中です。さらに、最近の目新しい動きとして、自然科学研究科では農学部の教官が中心になつて、外国人留学生のための特別コースが計画されてい

の推進です。国際協力事業団(JICA)が主催する3つの集団研修コースに協力し、それぞれのコースで開発途上国の若手研究者を毎年7、8名受け入れていることは、よくご存知だと思います。この受け入れは、本学部の国際貢献の代表例として自画自賛する目玉商品の一つとなっております。他方、外国の大学と協定を結び、学生や情報を交換したり、共同研究を行うことは、国際都市神戸にある農学部としては当然のことであり、また本学部の個性化を推し進めるための一つの都合の良い方策でもあります。すでに学部国際交流委員会と交流実績のある先生方の努力によりワシントン州立大学および中国農業大学との間で姉妹校提携が結ばれていましたが、今年度になってプロブディフ農業大学(ブルガリア)との提携も成立し、留学生も何人か来日しています。今後はベトナムおよびフィリピンの大学との提携を予定しております。現在交渉中です。さらに、最近の目新しい動きとして、自然科学研究科では農学部の教官が中心になつて、外国人留学生のための特別コースが計画されてい

の推進です。国際協力事業団(JICA)が主催する3つの集団研修コースに協力し、それぞれのコースで開発途上国の若手研究者を毎年7、8名受け入れていることは、よくご存知だと思います。この受け入れは、本学部の国際貢献の代表例として自画自賛する目玉商品の一つとなっております。他方、外国の大学と協定を結び、学生や情報を交換したり、共同研究を行うことは、国際都市神戸にある農学部としては当然のことであり、また本学部の個性化を推し進めるための一つの都合の良い方策でもあります。すでに学部国際交流委員会と交流実績のある先生方の努力によりワシントン州立大学および中国農業大学との間で姉妹校提携が結ばれていましたが、今年度になってプロブディフ農業大学(ブルガリア)との提携も成立し、留学生も何人か来日しています。今後はベトナムおよびフィリピンの大学との提携を予定しております。現在交渉中です。さらに、最近の目新しい動きとして、自然科学研究科では農学部の教官が中心になつて、外国人留学生のための特別コースが計画されてい

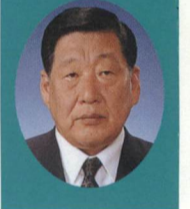
の推進です。国際協力事業団(JICA)が主催する3つの集団研修コースに協力し、それぞれのコースで開発途上国の若手研究者を毎年7、8名受け入れていることは、よくご存知だと思います。この受け入れは、本学部の国際貢献の代表例として自画自賛する目玉商品の一つとなっております。他方、外国の大学と協定を結び、学生や情報を交換したり、共同研究を行うことは、国際都市神戸にある農学部としては当然のことであり、また本学部の個性化を推し進めるための一つの都合の良い方策でもあります。すでに学部国際交流委員会と交流実績のある先生方の努力によりワシントン州立大学および中国農業大学との間で姉妹校提携が結ばれていましたが、今年度になってプロブディフ農業大学(ブルガリア)との提携も成立し、留学生も何人か来日しています。今後はベトナムおよびフィリピンの大学との提携を予定しております。現在交渉中です。さらに、最近の目新しい動きとして、自然科学研究科では農学部の教官が中心になつて、外国人留学生のための特別コースが計画されてい

の推進です。国際協力事業団(JICA)が主催する3つの集団研修コースに協力し、それぞれのコースで開発途上国の若手研究者を毎年7、8名受け入れていることは、よくご存知だと思います。この受け入れは、本学部の国際貢献の代表例として自画自賛する目玉商品の一つとなっております。他方、外国の大学と協定を結び、学生や情報を交換したり、共同研究を行うことは、国際都市神戸にある農学部としては当然のことであり、また本学部の個性化を推し進めるための一つの都合の良い方策でもあります。すでに学部国際交流委員会と交流実績のある先生方の努力によりワシントン州立大学および中国農業大学との間で姉妹校提携が結ばれていましたが、今年度になってプロブディフ農業大学(ブルガリア)との提携も成立し、留学生も何人か来日しています。今後はベトナムおよびフィリピンの大学との提携を予定しております。現在交渉中です。さらに、最近の目新しい動きとして、自然科学研究科では農学部の教官が中心になつて、外国人留学生のための特別コースが計画されてい

の推進です。国際協力事業団(JICA)が主催する3つの集団研修コースに協力し、それぞれのコースで開発途上国の若手研究者を毎年7、8名受け入れていることは、よくご存知だと思います。この受け入れは、本学部の国際貢献の代表例として自画自賛する目玉商品の一つとなっております。他方、外国の大学と協定を結び、学生や情報を交換したり、共同研究を行うことは、国際都市神戸にある農学部としては当然のことであり、また本学部の個性化を推し進めるための一つの都合の良い方策でもあります。すでに学部国際交流委員会と交流実績のある先生方の努力によりワシントン州立大学および中国農業大学との間で姉妹校提携が結ばれていましたが、今年度になってプロブディフ農業大学(ブルガリア)との提携も成立し、留学生も何人か来日しています。今後はベトナムおよびフィリピンの大学との提携を予定しております。現在交渉中です。さらに、最近の目新しい動きとして、自然科学研究科では農学部の教官が中心になつて、外国人留学生のための特別コースが計画されてい

六條会五十年の歩み

六條会前会長 西川 欣一



スナロ同様将来への希望を表しているブナ科の常緑喬木)の記念植樹に続いて、六條会主催の園遊会が行われた。神大グリークラブの若々しいオープニングコーラスによって幕が開けられ、「神大学生歌」「農大生歌」で雰囲気盛り上がり、篠山町から駆けつけたデカンショ保存会による歌と踊りで一層和やかで活気溢れる会となった。

し、四十周年は神戸大学全学合同の行事となり、平成元年五月十五日、式典と記念講演会、園遊会が六甲台で開催された。

◆農学部五十年へ

今まで「神大学生歌」しかなかった神大に新校歌が誕生、発表されたことであった。

国立移管前後は、全国の大学に吹き荒れたいわゆる大学紛争時代で、同窓会活動も一時空白の時期があったが、創立二十五周年に同窓会総会を開催し、名称を現在の「六條会」に改称した。「六」は神戸大学の所在地、六甲台から、「條」は兵庫農大発祥の地、篠山から取ったもので、「六」には更に当時農学部が五学科体制であったことにプラス、国立移管前に吸収合併した、県立農業短期大同窓会「鶴陵会」を加えた六部会の意味も込められている。

◆神大創立九十周年行事

明治三十五年に設立された官立神戸高商(現経済、経営、法学部)を神戸大学の設立基盤とし、平成四年五月十五日、神戸国際会議場で記念式典が行われ、引き続き会場をポートピアホテルに移し祝賀会が催された。祝賀会のハイライトは

こ十年間は神大全学合同行事に同窓会役員が代表として出席していたが、今回六條会も役員を一新し、代議員制も整ったので、農学部独自の五十周年記念同窓会を全卒業生と共に祝うこととなった。六條会員の絶大なるご協力とご参加をお願いしたい。

「六」は神戸大学の所在地、六甲台から、「條」は兵庫農大発祥の地、篠山から取ったもので、「六」には更に当時農学部が五学科体制であったことにプラス、国立移管前に吸収合併した、県立農業短期大同窓会「鶴陵会」を加えた六部会の意味も込められている。

国立移管前後は、全国の大学に吹き荒れたいわゆる大学紛争時代で、同窓会活動も一時空白の時期があったが、創立二十五周年に同窓会総会を開催し、名称を現在の「六條会」に改称した。「六」は神戸大学の所在地、六甲台から、「條」は兵庫農大発祥の地、篠山から取ったもので、「六」には更に当時農学部が五学科体制であったことにプラス、国立移管前に吸収合併した、県立農業短期大同窓会「鶴陵会」を加えた六部会の意味も込められている。

一年度新入生(神大農学部一回生)は六甲教養学舎で学び、農大生は従来どおり篠山学舎で学んだ。同年十五回卒業式が篠山学舎で行われ、これが篠山学舎における最後の卒業式となった。四十二年前期は神大農学部の一、二年生は六甲教養学舎で、農大三、四年生は篠山学舎で勉強したが同年九月に六甲台に現農学部新学舎が完成、同月に二十日間にわたってトラックによる大移転作戦が行われた。その結果後期から六甲台で全学年の講義が行われることとなった。農大第十六回卒業式も農学部C一〇一号教室でとり行われた。

帽といった出で立ちであった。当時は大学生のシンボルが角帽であったので、予科生を羨ましがらせたものである。

「丹波路や 多紀高原に新しき理想かざして 生まれたり兵庫農大」(学歌)

ます。これは、留学生を対象として英語で授業と研究指導を行い、博士の学位を取得させるコースで、来年10月の開設に向けて準備作業を急いでいます。

第三は、地域社会との連携の強化です。国立大学農学部とはいえ、地域社会の産業や文化の振興に貢献することは、重要な使命の一つです。兵庫農林水産部とは数年前から年2、3回の会合を開き、情報交換を行うとともに、部分的には共同研究も実施してきましたが、今年からはこの関係をより緊密にすべく県下の農業施設の視察・研修なども取り入れることになりました。また、今年度から学部長の諮問機能的性格を持つ地域連携推進委員会が設置され、兵庫県のみならず神戸市等の自治体、農業団体、民間企業等との連携の在り方、その具体化について協議しています。

この稿では、農学部創立50周年を迎えて、先人への謝意とあらたな決意の一端を表明させていただきました。会員の皆様には、今後ともご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。間もなく始まります記念講義や来年5月の記念式典等でお目に掛かれることを願っています。

「丹波路や 多紀高原に新しき理想かざして 生まれたり兵庫農大」(学歌)

開学時、農学科一学科でスタートした農大は、専門過程の教授陣の充実と共に二年後には農芸化学科と畜産学科が増設された。一、二回生は各自の希望で農学科と農芸化学科に分かれたが、畜産学科は三回生からのスタートとなった。

さて同窓会は三回生が卒業し、三学科の卒業生が揃ったのを機会に一回生が中心となって設立した。昭和三十年五月のゴールデン・ウィークに篠山の「魚米」で結成式をあげ、当面は各学科ごとに会計係と名簿係を置き運営することとした。従って初めは学科別の卒業生名簿の小冊子の発行から始まり、数年して「同窓会会員名簿」として統合された。

その結果後期から六甲台で全学年の講義が行われることとなった。農大第十六回卒業式も農学部C一〇一号教室でとり行われた。

四十三年度は兵庫農科大学としての最終年次にあたり、農大生は百五十四名を残すのみとなり、農学部学生は一、二、三回生を合わせて四百六十五名となった。翌年三月、農大第十七回卒業式(最終)を挙げて国立移管を完了した。

この国立移管中の二年間は二枚看板時代ではあったが学生間相互は親密で和気あいあいの裡に先輩、後輩として学究生活を続け、同窓会も兵庫農大一回生から現在まで六條会として一本化している。

昭和五十九年の創立三十五周年に特筆すべきは、農学部発祥の地記念碑が篠山の旧キャンパス正門前に建立されたことである。その竣工式は昭和五十八年七月十二日に、除幕式は翌年五月十九日に現地篠山に多数の卒業生が集まり、盛大に執り行われた。

この稿では、農学部創立50周年を迎えて、先人への謝意とあらたな決意の一端を表明させていただきました。会員の皆様には、今後ともご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。間もなく始まります記念講義や来年5月の記念式典等でお目に掛かれることを願っています。

この稿では、農学部創立50周年を迎えて、先人への謝意とあらたな決意の一端を表明させていただきました。会員の皆様には、今後ともご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。間もなく始まります記念講義や来年5月の記念式典等でお目に掛かれることを願っています。

この稿では、農学部創立50周年を迎えて、先人への謝意とあらたな決意の一端を表明させていただきました。会員の皆様には、今後ともご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。間もなく始まります記念講義や来年5月の記念式典等でお目に掛かれることを願っています。

この稿では、農学部創立50周年を迎えて、先人への謝意とあらたな決意の一端を表明させていただきました。会員の皆様には、今後ともご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。間もなく始まります記念講義や来年5月の記念式典等でお目に掛かれることを願っています。

この稿では、農学部創立50周年を迎えて、先人への謝意とあらたな決意の一端を表明させていただきました。会員の皆様には、今後ともご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。間もなく始まります記念講義や来年5月の記念式典等でお目に掛かれることを願っています。

この稿では、農学部創立50周年を迎えて、先人への謝意とあらたな決意の一端を表明させていただきました。会員の皆様には、今後ともご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。間もなく始まります記念講義や来年5月の記念式典等でお目に掛かれることを願っています。

この稿では、農学部創立50周年を迎えて、先人への謝意とあらたな決意の一端を表明させていただきました。会員の皆様には、今後ともご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。間もなく始まります記念講義や来年5月の記念式典等でお目に掛かれることを願っています。

この稿では、農学部創立50周年を迎えて、先人への謝意とあらたな決意の一端を表明させていただきました。会員の皆様には、今後ともご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。間もなく始まります記念講義や来年5月の記念式典等でお目に掛かれることを願っています。

◆創立二十五周年行事

二十五周年記念総会に於いて、会名を「六條会」と改称すると共に、以後五年毎に記念事業を実施することを決議し、創立二十五周年記念会員名簿を発行した。

◆創立三十五年行事

昭和五十九年の創立三十五周年に特筆すべきは、農学部発祥の地記念碑が篠山の旧キャンパス正門前に建立されたことである。その竣工式は昭和五十八年七月十二日に、除幕式は翌年五月十九日に現地篠山に多数の卒業生が集まり、盛大に執り行われた。

◆創立三十周年行事

昭和五十四年五月十九日、当日は雲一つない好天に恵まれ、会場を包む新緑がまばゆいばかりの中、記念式典と「マテバシイ」(待てば権になるの意味を持ち、ア

◆新制神大四十周年行事

従来は六條会単独の事業であったがようやく機が熟



農学部創立50周年
六條会記念事業 骨子固まる
募金活動中でご協力を

50周年六條会記念事業実行委員会代表 **王子善清**

我らの母校神戸大学農学部は、戦後の混乱も収まらぬ昭和24年、田園情緒豊かな篠山の地に兵庫県立農科大学として開学以来、来年5月、創立50周年の節目の年を迎える運びとなりました。戦後の食糧難、高度成長期の公害問題、資源の渾濁、地球規模の環境問題、また最近の環境ホルモンの脅威等、この50年間の幾多の難題のなか、博士課程を有する全国有数の学部へと成長いたしました。母校の発展を目のあたりにして、まことに感慨深いものがあります。しかし、これらの難題の多くは今なお、21世紀に解決すべき課題として残っております。

事務手続きの都合上、年内に振込みをお済ませ頂きますよう重ねてお願い申し上げます。
 お問い合わせは50周年六條会記念事業実行委員会代表王子善清までお願いします。(TEL: 078-803-0654)

神戸大学農学部創立50周年
 六條会記念事業委員会の構成

◆理事◆

新家 龍(代表、C5)

北浦 義久(A6)

酒井 修(A9)

和久 克明(A10)

西川 欣一(A1)

東 順三(C1)

田中 平義(C1)

能宗 康夫(C2)

豊増千鶴男(A5)

杉本 金五(Z5)

和泉 孔庸(C8)

小山 美幸(A10)

◆委員◆

土田 広信(*式典、C9)

団野 源一(*特別講演会、C9)

保田 茂(A10)

中田 昌伸(*記念品、C10)

岸原 士郎(C10)

津川 兵衛(*植樹、A11)

河南 保幸(Z11)

山本 博昭(*発祥地講演会、A12)

王子 善清(*代表祝賀会、C12)

辻 莊一(*記念講義、Z12)

内藤 親彦(*募金、A13)

大谷 良逸(*C13)

吉倉惇一郎(*C16)

石賀 暢一(*神C1)

中村 直彦(*神Z1)

武 正興(*神C3)

菅原 通直(*神C4)

南森 隆司(*神C6)

金地 通生(*神A14)

*実行委員

農学部創立50周年記念事業の日程・会場・内容等

●1998年6月から記念事業完了まで

【募 金】

以下の記念事業実施のため募金活動中

個人：1口1万円（同封振込用紙利用可 1口以上）

法人：1口5万円（ご紹介下さい）

郵便振込先：加入者名「六條会50周年記念事業会」

口座番号「00900-5-126170」

【創立50周年記念品の製作】

「飾り皿」——募金協力者に郵送

「記念冊子」——「農学部の沿革と21世紀の農学研究」募金協力者に郵送

「酒盃」——祝賀園遊会参加者に当日配布

六條会学術振興基金の充実——若手研究者の研究活動援助

●1998年10月6日(火)から10月9日(金)

【記念講義*】

「21世紀の農学」——神戸大学六甲台講堂

卒業生15名を講師とした在校生、一般向け講義

●1999年5月15日(土)13時から18時

【記念式典】——神戸大学農学部大講義室C101 来年3月頃再案内の予定

【記念特別講演会*】神戸大学農学部大講義室C101 現神戸大学長西塚泰美氏と兵A11回卒業生 湯浅浩史氏の特別講演

【記念植樹】——神戸大学農学部前庭

【祝賀園遊会】——神戸大学農学部前庭 来年3月頃再案内の予定

●1999年6月6日(日)13時から17時

【農学部発祥地学術講演会*】——たんば田園交響ホール(兵庫県篠山町)

4人の演者による「21世紀への飛翔」—真の豊かな暮らしを求めて—、同窓生、一般向け講演会

*詳細はそれぞれの記事をご覧ください。

同期会、クラス会の幹事様へ：

メインイベントが開催される来年の5月15日(土)や6月6日(日)の篠山での学術講演会に合わせて、クラス会等を企画下されば何かと好都合ではないでしょうか。

農学部創立50周年記念講義のご報告

農学部創立50周年記念講義実行委員会委員長 辻 莊一

来春には、農学部創立50周年、記念事業が目白押しに待っておりますが、それに先駆けて特別講義が10月6日～9日までの4日間、神戸大学六甲台講堂にて開講されました。この講義は、卒業生の中から講師を選ばせていただき、学生に社会の第一線にて活躍中の先輩の仕事の内容も含めて、講義してもらおうという企画であり、学生の将来と関わる重要な講義と位置付け、企画しました。農学部では初めての企画であります。

講義は、別紙のようなスケジュールで行なわれましたが、受講者は総数452名[学生346名、一般106名]で、講義は朝早くから夕方5時までみっちり行なわれ、学生にとっては休む間も無い強行スケジュールの講義となりました。しかしながら、講義内容は夫々極めて興味深いもので、日ごろ聞くことのできない、先輩たちの活躍振りに、引き付けられて、欠席をした学生数もごく一部に限られておりました。お蔭様で、盛況のうちに講義を終了することが出来ました。立派なテキストも講師の先生方の協力で、作成しましたので、来春の記念事業の際に、お配り出来るものと考えております。申し送りましたが、この講義には、卒業生の諸先輩や恩氏の姿も見られ、意義深いものであったと自負しております。最後に本講義の開催に当たり、ご協力頂いた教務学生掛りを始めとする事務職員の方々、アルバイトの学生、更には実行委員の先生や講師紹介の労をお取り頂いた先生方に厚く御礼申し上げます。来春には、篠山の地と六甲の2地区で記念講演が開催されます。ご期待下さい。



- 13:30～15:00：山田 保、昭和44年卒、国際協力事業団、
「卒業生の体験的国際協力から21世紀を見つめて」
- 15:10～16:40：斎藤 昭、昭和53年(修士修了)、農林水産省食品流通局商業課、
「国際化の進展と野菜流通システムの変貌
—野菜の国際的貿易の進展とわが国「卸売市場」に与える影響・評価

■平成10年10月7日

- 9:00：受講受付
- 9:20～10:50：渋谷 徹、昭和41年卒、食品薬品安全センター、秦野研究所、
「食品・医薬品の安全性」
- 11:00～12:30：辻 啓介、昭和39年卒、姫路工業大学環境人間学部
食品機能と健康—食物繊維の生理機能—
- 13:30～15:00：伊藤一幸、昭和48年卒、農水省農業環境技術研究所、
「環境保全型稲作技術の構築」
- 15:10～16:40：中村直彦、昭和45年卒、神戸市緑農海浜公社
「都市型農業の未来、21世紀の農業はどうあるべきか」

■平成10年10月8日

- 9:00：受講受付
- 9:20～10:50：三本木一夫、昭和55年卒、UCC上島珈琲(株)、貿易事業本部
「コーヒ栽培の科学」
- 11:00～12:30：湯浅 浩史、昭和38年卒、進化生物学研究所、
「植物進化と地球環境」
- 13:30～15:00：牛尾公平、昭和46年卒、ヒガシマル醤油(株)「醤油醸造と微生物」
- 15:10～16:40：新藤充宏、昭和39年卒、西宮酒造(株)「灘酒」

■平成10年10月9日

- 9:00：受講受付
- 9:20～10:50：小畑太郎、昭和44年卒、農水省農業生物資源研究所、
「わが国における農業生物資源の保存と利用、
特に動物遺伝資源について」
- 11:00～12:30：小前隆美、昭和47年卒、農林水産省農業工学研究所、
「地下水の動態—同位体を指標として—」
- 13:30～15:00：井上理一、昭和46年卒、日本ポール(株)、
「バイオテクノロジーとフィルター」
- 15:10～16:40：山田久也、昭和53年卒、ヤンマー農機(株)中央技術研究所、
「苗生産技術の自動化・ロボット化—その現状と展望—」

農学部創立50周年記念講義日程〈場所：神戸大学六甲台講堂〉

■平成10年10月6日

- 10:20：受講受付、テキストの配布
- 10:45：学部長挨拶と講義概要紹介
- 11:00～12:30：田中和夫、昭和49年卒、農林水産省、野菜・茶業試験場
久留米支場、
「施設園芸の発展経過と今後の展望—野菜の高品質安定供給—」

農学部50周年記念講演会について

農学部創立50周年特別講演会実行委員会委員長 団野 源一

農学部創立50周年を記念して、以下のとおり記念講演会を開催する運びとなりました。講演者には世界的にも第一線で活躍されている西塚学長と本学御出身の湯浅浩史先生にお願い致しております。これを機会に、久しぶりに母校を訪れてはどうか。

皆様の多数のご参加を御待ちしております。以下に講演会の日程と各先生の講演内容と簡単なプロフィールを紹介いたします。

◆平成11年5月15日(土) 記念式典に続いて約2時間

1.40 「島大陸マダガスカルから21世紀を考える」(進化生物学研究所)

湯浅浩史先生

2.40 演題未定

(神戸大学学長)

西塚泰美先生

湯浅浩史先生の講演要旨とプロフィール

【要旨】

毎年一億に近い人口爆発、それに伴う焼畑、燃料用の薪や家畜の過放牧による森林破壊、そして砂漠化、塩漬土壌の増大と、地球レベルでの環境悪化は拍車がかかり、今や地球環境戦争といえるくらいである。

アフリカの東4000kmのインド洋上にマダガスカルという島が浮ぶ。島といっても人によつては第七の大

この酵素はホルモンなどの刺激をうけて細胞膜に生成するジグリセリドという脂質の作用をうけて機能をあらわすことがつきとめられ、多彩なホルモンの情報を細胞内へ伝える、いわばレール分子として必須の役割を担うことが解明されました。

またその途上、ある種の発がん促進物質はPKCの働きを不必要に長期間刺激して細胞増殖を起し、発がんに至らしめることが解明されました。これらの研究が契機となってPKCの役割は脳神経系疾患、免疫疾患、心脈管系や血液疾患、内分泌や老化現象など、医学生理学の非常に広範囲の生命現象の調節におよぶことが解明されています。

西塚学長は、過去10年間、180編以上の英文論文を发表し、これらの膨大な研究成果を学術の最高権威誌である米国「Science」誌、および英国「Nature」誌に前後5回にわたり集大成して掲載されました。それらの論文は1981年、1990年の10年間、全科学領域において、超伝導やエイズの研究を抑えて引用件数が世界第1位(1980年代での総引用件数20、143件)となっています。また、1990年代の現在も、主要学術誌に毎週40、50報の論文が引用され続けていると米誌が報じています。

「六甲ひろばNo.2 神戸大学庶務課発行より引用」

発祥の地(篠山)における 学術講演会開催のお知らせ

農学部創立50周年記念行事 発祥地講演会実行委員長 山本博昭

昭和二十四年、丹波篠山の地に「兵庫県立農科大学」として誕生した母校は、国立移管後「神戸大学農学部」として発展し続け、平成十一年度にはめでたく創立五十周年を迎えることになりました。奇しくも、本学部の発祥の地篠山では、同年四月から四町合併による「新生篠山町」が誕生、新たな発展への出発点を迎えられることとなり、私ども同窓の輩にとつても二重の慶びであると存じます。

六條会では、この機会に発祥の地、篠山地域の皆様方への謝恩と啓蒙・発展に微力ながら尽くすべく学術講演会を計画してはどうかとの発案があり、新会長、王子副会長および篠山在任者を含めた数名の実行委員により検討して参りました。

「雑草と人間」 暮らしを求めて 眞に豊かな

「講演者とテーマ」 前神戸大学農学部教授 松中昭一氏

神戸大学農学部 創立五十周年記念 発祥地学術講演会

「二十世紀への飛翔」

「食と健康」

「生産者と消費者の共生」

「地域活性化と新生篠山町」

【日時】

平成十一年六月六日(日) 午後一時から午後五時まで

【場所】

たんば田園交響ホール 兵庫県多紀郡篠山町北新町 TEL 0795-52-3600

なお、講演者には神戸大学農学部、六條会、地元篠山町に馴染みが深く、各界の第一線で活躍の方をお願い致しました。ここに、紙面を借り各氏の簡単なプロフィールを紹介いたします。

○松中昭一氏

昭和30年大阪大学工学部大学院修了。農林省農業技術研究所入所後、生理第二・第六研究室長を歴任。昭和53年神戸大学農学部教授、農業学講座を担当され平成3年定年退官。その後平成10年まで関西大学工学部生物工学科教授。その間、アメリカ雑草学会名誉賞、日本農学賞、紫綬褒章等多数を受賞し、国際雑草学会、日本農薬学会、日本雑草学会の会長を歴任。(農学博士)

○辻 啓介氏

県立篠山鳳鳴高校を経て昭和39年兵庫農科大学農芸化学科卒業。国立栄養研究所入所後、応用食品部栄養資源開発研究室長・食品栄養

養評価研究室長を歴任。平成10年より兵庫県立姫路工業大学環境人間学部教授、現在に至る。(農学・医学博士)

○保田 茂氏

昭和37年兵庫農科大学農学卒業後、同40年大阪府立大学大学院修士課程修了。兵庫農科大学助手、神戸大学農学部助手、助教を経て平成4年より同教授、食料環境経済学講座を担当し現在に至る。その間、農水省有機農業生産流通消費調査検討委員会委員、兵庫県有機農産物認証委員会委員長等を歴任。(農学博士)

○瀬戸亀男氏

昭和30年県立篠山農業高等学校卒業。地元特産物を中心とした斬新的な農業経営に従事。篠山町教育委員、篠山町議会議員を長年務めた後、平成3年より同町議会議員、平成8年より篠山町長に就任し現在に至る。

この学術講演会に関する問い合わせは、六條会事務局または山本博昭(神戸大学農学部内、

TEL/FAX 078-803-0698

Email Yamamoto@eng.ans.kobe-u.ac.jp)へお寄せ下さい。

50年が経過して、 卒業生は今

支部等の便り

KOBE六條会

会長 坂井永利
(昭和39年農学科卒)

KOBE六條会は、その名のとおり、兵庫農科大学、兵庫県立農業短期大学及び神戸大学農学部を卒業し、神戸市役所に勤務する者が、年に一度、定年で御退官になられた大学の教官をはじめ、農学部長や六條会長にもご出席をいただき、昔話に花を咲かせる会です。昭和61年に設立し、今年で12年になります。当初は77名で発足しましたが、毎年少しづつ増え、現在は、現職が90名、OBが23名となっています。女性会員も年々増え、10名を数えるに至っています。また、合わせて、学部長経験者の先生方に名誉会員として引き続きご指導を頂いています。事業は、年に一回総会・懇親会を開催することと名簿を作成・配布することのみで、実に気楽な会です。

会では、新しく市役所に就職されるといち早く配属先に幹事が新人の所に現れ、名簿を渡し、会の案内をし

ます。新人会員は、最初の総会・懇親会に無料で招待され、年会費の千円のみで出席できることとしています。因みに、今年も、3名の人が市役所に入ってきました。掲載の写真は、先日、約45名の出席を得て開催した第12回の総会・懇親会の記念写真です。記念写真は二年に一回、役員改選期に撮ることにしています。赤いリボンをつけた大学の先生方をはじめ、OBの方々、熟年、壮年、青年、うら若い女性などなど正に老若男女が集まった会で、あつという間に楽しい時間が経ちました。知らない人がみれない「いつたの会」など



と思うのではないのでしょうか。共通点は、大学の同窓生で神戸市役所に勤務しているだけの関係で、勤務先は実にバラバラ。卒業した学科も旧の5学科(園芸農学科、植物防疫学科、農工学科、農芸化学科、畜産学科)全てにわたり、研究室もまたバラバラです。このため、皆さんの職場は実に幅広い分野に及んでいます。大学時代に教職課程を勉強し、小学校や中学校の先生や環境衛生の仕事をしている人、環境局で産業廃棄物

と関係の指導をしている人や、大気汚染や水質汚濁の防止を図る環境保全の仕事をしている人、産業振興局で農業、水産業、畜産業等の農政事務を行っている人、建設局で、土木、下水道、道路など土木系の仕事に就いている人、公園の仕事をしている人、ワイン城や六甲山牧場、はたまた海釣り公園で働いている人。

面白いもので、いろいろな場所まで会員に出くわします。このKOBE六條会が無ければ、同窓生であることも知らないまま「けったいな奴っちゃなあ」「ホンマ頭の固いおっさんや」「可愛らしい顔して、言うことはキツイ奴っちゃ」などと思ってしまうのではないかなあということになるんだと思います。それらは仕事上の表向きの顔で、知り合えば実に楽しい連中の集まりです。肩の凝らない知り合いが職場にいても良いのではないのでしょうか。

あの農学部の卒業生ですから無理はありませんが、KOBE六條会は、こんな集まりです。深刻な経済不況と就職難の中、神戸市もその例外ではありません。現在の職員の採用状況は、退職者の穴埋めの人数しか採用がされません。場合によっては定員を削減される職場も少なくありません。

在校生の皆さんの中には、公務員を目指す人もおられることと思いますが、公務員試験には特定の学科を卒業していなければ、受験でき

ない場合があります。例えば、食品衛生法に規定する食品衛生監視員は、農芸化学科や畜産学科を卒業していなければ任命されないため旧農芸化学科や畜産学科担当の履修科目を習得していなければ市役所の採用試験を受けることができません。

ぜひとも履修科目の漏れが無いように注意し、我々の仲間となられる方が現れることを期待してやみません。

門戸は極めて厳しい状況ですが、こんな神戸市の採用試験にあなたもチャレンジしてみませんか？

来られ神戸市へ！
来られKOBE六條会へ！

「六條会」が正式結成され、活動が活発になるにつれ、県関係の同窓生から我々も組織的に活動しては、ということとなり、会則を定めたのが頭書のこのです。会発足当時は一三名の会員で、平均年齢も若く、毎年五月に講演会や親睦のソフトボールに汗を流して後、懇親会を開催して

おりました。その後、会員数は増加の一途ですが、結婚などによる中途退職や平成元年春からは定年(六十歳)退職の会員が現れることとなり、現役会員数は、ほぼ横這いとなっています。

初代会長の田中氏が退かれて、二代目森俊人氏(平成二一五年度)、三代目北浦義久氏(平成六一七年度、兵庫県県議会議員)、そして現在は四代目久克明氏(兵庫県理事、震災復興・災害保障制度担当)が会長となつています。会員には歴代会長をはじめ多くの方々が県の要職に就き、農林水産部を中心に各部署で幅広く活躍しております。

近年は、総会を秋の兵庫県民農林漁業祭の日に開催することが定例となり、本年は去る十月三日に五十余

名の会員が集い、大学からも加藤農学部部長をはじめ、王子六條会副会長、にも出席いただき、大学の現況や来春の五十周年事業の計画等について伺うとともに、会員相互の交歓をして実り多い会合となりました。

創立五十周年を祝して
関東支部が発足

関東支部 和泉孔庸
(昭和35年農芸化学科卒)
神戸大学農学部は昭和二十四年に條山の地に兵庫県農科大学として開学して以来、多の変遷と発展を重ねて五十周年の節目を迎える事となり大変目出度且つ喜ばしい事と御祝辞申し上げ併せて益々のご発展を御祈念申し上げます。こちら関東地区には約一千名の会員が各分野で活躍されていま

す。この現状から母校が開校以来五十周年の節目を迎えること云々歳月の重みまたその後に素晴らしい発展と飛躍を遂げた云々証をここにも見る事が出来て誠に感慨深いものがあります。関東地区における会員相互の交流及び親睦は、同じ業界ビジネスの場を持つ会員あるいは講座を同じくする会員達が個々に懇親の場を設けていますが、昨年の七月に新会長が上京された折りに、「開学五十周年の節目に是非支部の設立を」との要請を受けて、会員有志の協力を得て支部の設立準備を進めてきました。

今回の支部設立に際しては、主として農業業界に關係している会員の親睦グループである「甲農会」を核とし、関東地区一都六県に在住、在勤する会員を対象にした地域支部として「六條会関東支部」設立し、去る七月十一日(土)に本部より新会長並びに王子副会長の出席をも戴き、八十数名の会員が出席して設立総会を行い支部規約の承認、並びに支部役員を次の通り選任して正式に発足しました。

支部長 和泉孔庸(兵八回)
副支部長 足立隆昭(兵九回)
岸谷靖雄(兵十回)
山本隆司(兵十回)
上山維介(神三回)
馬庭義則(神四回)

幹事 本田 勉(兵十二回)

「いま六條会は」

廣島 豊彦
(昭和三十九年農学科卒)
「六條会」は、昭和五十六年九月に結成されたもので、兵庫県に勤務する(又は勤務した)六條会会員により構成され、現在の会員数は約二〇〇名、うち現役会員は一六五名の大所帯です。



「六條会」が正式結成され、活動が活発になるにつれ、県関係の同窓生から我々も組織的に活動しては、ということとなり、会則を定めたのが頭書のこのです。会発足当時は一三名の会員で、平均年齢も若く、毎年五月に講演会や親睦のソフトボールに汗を流して後、懇親会を開催しておりました。その後、会員数は増加の一途ですが、結婚などによる中途退職や平成元年春からは定年(六十歳)退職の会員が現れることとなり、現役会員数は、ほぼ横這いとなっています。

初代会長の田中氏が退かれて、二代目森俊人氏(平成二一五年度)、三代目北浦義久氏(平成六一七年度、兵庫県県議会議員)、そして現在は四代目久克明氏(兵庫県理事、震災復興・災害保障制度担当)が会長となつています。会員には歴代会長をはじめ多くの方々が県の要職に就き、農林水産部を中心に各部署で幅広く活躍しております。

近年は、総会を秋の兵庫県民農林漁業祭の日に開催することが定例となり、本年は去る十月三日に五十余

名の会員が集い、大学からも加藤農学部部長をはじめ、王子六條会副会長、にも出席いただき、大学の現況や来春の五十周年事業の計画等について伺うとともに、会員相互の交歓をして実り多い会合となりました。

創立五十周年を祝して
関東支部が発足

関東支部 和泉孔庸
(昭和35年農芸化学科卒)
神戸大学農学部は昭和二十四年に條山の地に兵庫県農科大学として開学して以来、多の変遷と発展を重ねて五十周年の節目を迎える事となり大変目出度且つ喜ばしい事と御祝辞申し上げ併せて益々のご発展を御祈念申し上げます。こちら関東地区には約一千名の会員が各分野で活躍されていま

す。この現状から母校が開校以来五十周年の節目を迎えること云々歳月の重みまたその後に素晴らしい発展と飛躍を遂げた云々証をここにも見る事が出来て誠に感慨深いものがあります。関東地区における会員相互の交流及び親睦は、同じ業界ビジネスの場を持つ会員あるいは講座を同じくする会員達が個々に懇親の場を設けていますが、昨年の七月に新会長が上京された折りに、「開学五十周年の節目に是非支部の設立を」との要請を受けて、会員有志の協力を得て支部の設立準備を進めてきました。

今回の支部設立に際しては、主として農業業界に關係している会員の親睦グループである「甲農会」を核とし、関東地区一都六県に在住、在勤する会員を対象にした地域支部として「六條会関東支部」設立し、去る七月十一日(土)に本部より新会長並びに王子副会長の出席をも戴き、八十数名の会員が出席して設立総会を行い支部規約の承認、並びに支部役員を次の通り選任して正式に発足しました。

支部長 和泉孔庸(兵八回)
副支部長 足立隆昭(兵九回)
岸谷靖雄(兵十回)
山本隆司(兵十回)
上山維介(神三回)
馬庭義則(神四回)

幹事 本田 勉(兵十二回)

「いま六條会は」

廣島 豊彦
(昭和三十九年農学科卒)
「六條会」は、昭和五十六年九月に結成されたもので、兵庫県に勤務する(又は勤務した)六條会会員により構成され、現在の会員数は約二〇〇名、うち現役会員は一六五名の大所帯です。



多田泊二(兵十三回)
加納健三(兵十六回)
鈴木道夫(兵十七回)
宮崎敏弘(兵三回)
広岡慎吾(兵八回)
管 哲郎(兵十五回)
監 事
松浦祥二(兵十回)
辻川立史(兵十三回)
西岡泰介(兵十八回)
当支部としては我々会員相互の連携と親睦を更に深めるとともに、母校の更なる発展の一助となる様に活動して行きたいと思っていますので、会員各位には尚一層のご協力をお願いします。

今回の総会は来年の七月十日(土)に今回と同じく東海大学校友会館(霞が関ビル)で開催しますので、多くの会員の出席をお願いします。また、東海、東北等近隣地区におられる会員各位も参加して下さい。有難いと思っております。

なお、当支部の連絡事務局を次の通り設置します。

で利用して下さい。
関東支部連絡事務局
(株)アグロス 上山維介(副支部長 兵三回)
〒103-0004
東京都中央区東日本橋一丁目一七(東日本橋スカイビル)
TEL 03-5687-3923
FAX 03-5687-3977



「六條Z会」が発足・開催される

兵庫農科大学・神戸大学の畜産学科の同窓会が、156名の出席のもと、さる5月16日(土)に神戸商工貿易センタービル24階、レストランパークにおいて盛大に開催された。

神戸大学農学部は、兵庫農科大学が篠山の地で開学して以来、50年を迎えようとしている。また、畜産学科(現在「応用動物学科」)

を学んだ卒業生は、すでに1000名を越えており、各方面から同窓会を開催してはどうかといった要望が聞かれていた。

学科全体の同窓会の開催は、おそらく初めての企画である。そのため、世話人会を発足させ、10回ばかりの会を重ね、卒業生への通知をはじめ、日時、場所、会費、アトラクション等当日までの準備を綿密に行った。

同窓会当日は、主催者から杉本五世話人代表が挨拶を行い、つづいて来賓の加藤征史郎農学部長、新六條会長から現農学部の様子や大学創立50周年記念事業計画についてのことばをいただいた。

その後、ご出席いただいた懐かしい13名の恩師の先生方の紹介、引き続き一番の長老である下田興四雄先生の発声のもとで神戸ワインによって乾杯を行い、宴会に入った。

い出話に花を咲かせたり、横や縦や大学とのつながりで仕事の話に夢中になったり、桂文福師匠のアトラクションに笑いが飛んだり、楽しく、意義深い一時を持つことができた。

最後に、水野利雄先生のバンザイでお開きとなり、来年度の50周年記念事業への参加、その2、3年後の「六條Z会」での再開には皆が元気に顔を合わせることを誓って散会した。

また、ご多忙のところ、遠路ご出席をいただきました、現・旧教官の先生方をはじめ、同窓生の皆様には厚くお礼申し上げます。

なお、収支会計については、後日、世話人会を開催し検討した結果、神戸大学農学部創立50周年記念事業会に10万円を寄付し精算いたしましたのでご了承ください。

六條Z会事務局／
杉本 金五(兵5回)
TEL 06-419-7171
FAX 06-412-0167
氷上 雄三(兵6回)
TEL 078-821-4400
FAX 078-821-4400
中村 直彦(兵1回)
TEL 078-735-2907
FAX 078-735-2950

お悔やみ

農学部植物資源学科4回生林正人君は、平成10年1月18日病気のため、逝去されました。同君は、東京大学大学院への進学目前のことで、本人もさぞ無念であり、ご両親をはじめご家族の方々のお嘆きも察するにあまりあります。ここに慎んで、林正人君の御冥福を心からお祈り申し上げます。

なお、ご両親から六條会への寄付の申し出がありましたことをご報告いたします。



六條会の支部設置及び運営に関する規定

これまでに既に支部活動が行われていたKOBÉ六條会、東支部が発足しております。また九州支部の設置が予定されております。これに伴い、支部の設置及び運営に関する規定が定められました。各地での同窓生の繋がりを広げるためにも新しい支部設置を歓迎しております。なお新しい支部設置に関しては次の規定を参照していただければ幸いです。

(趣旨)

第1条 この規定は、六條会の支部の設置及びその運営に関し、必要な事項を定めるものとする。(事業活動)

第2条 六條会の活動を広く会員に広げるため、同一又は同種企業・団体に属する正会員による職域支部、同一地域に属する正会員による地域支部(以下「支部」という。)の設置を推進し、六條会(「本部」という。)は、その活動を支援するものとする。

(支部の基準)

第3条 支部とは、次の各号の基準により設置されたものをいう。

(1)同一又は同種企業・団体(職域支部)または、同一地域(地域支部)の全ての正会員を対象とした組織であること。

(2)支部の会員のうち六條会の正会員が、30人以上であること。

(3)会則が定められていること。

(4)定期的に全会員が集まることのできる会合を開催していること。原則として年1回。

(支部の認定)

第4条 支部を設置する場合は、趣意書、代表者名、会則(案)・会員名簿(案)を添えて本部に申請しなければならない。

2 本文役員会は、前項の申請があったときは、本規定に基づき審査を行い、支部と認めるときは、支部として登録し、その旨支部に通知するものとする。

(支部の義務)

第5条 支部は次の事項について必ず本部に報告しなければならない。

(施行時期)

1 この規定は、平成9年4月1日から施行する。(経過措置)

2 平成9年4年1日以前に設立された組織で、その規定に合致するものは、この規定による設置された支部とする。

但し、第6条第2項の規定は適用しないものとする。(第6条の(2)関係)

第6条 本部は、支部に対して次に各号に定める支援を行う。

(1)本部は、支部の設立にあたって、必要な情報の提供を行うものとする。

(2)本部は、支部設立にあつて、設立総会開催費の一部を助成する。助成額は、別に定める支部設立助成金交付基準によるものとする。

(3)支部の要請により、支部が行う行事に本部役員を参加させ、本会の活動、神戸大学農学部の近況などを報告させることができるものとする。

(4)支部行事に出席する本部役員は、本部がこれを負担する。但し、旅費・宿泊費については、支部が負担するものとする。

(代議員の選出)

第7条 支部は、六條会代議員選出規定に基づき、支部代表として代議員を選出することができる。

(委任)

第8条 この規定の施行に必要な事項は、役員会において定める。

付則

1 この規定は、平成9年4月1日から施行する。

2 平成9年4年1日以前に設立された組織で、その規定に合致するものは、この規定による設置された支部とする。

但し、第6条第2項の規定は適用しないものとする。

支部設立助成金交付基準

支部設立時における本部助成金は、設立総会開催に要する経費に対して交付するものとし、その額は、次の基準によるものとする。

六條会正会員1人当たり、1,000円とし、50,000円を限度とする。

なお、10,000円以下は切り上げとする。

平成9年度

同窓会報告

平成9年度神戸大学農学部同窓会(六條会)庶務報告

平成9年度の役員総会の決定に基づき新役員体制での活動をスタートさせました。それ以来、どのような役員構成になっても本会が混乱することなく正常で活発な活動ができることを目標に種々の活動に取り組んでまいりました。そこで、まず会員諸氏とのスムーズな連絡体制が可能なように、事務体制の充実を計りました。非常勤(週1回)の六條会専属事務員を採用し、FAXの設置、コンピュータの導入をし、開かれた情報交流をめざしてまいります。平成10年度の代議

員総会では六條会活動活性化のため、六條会運営に関する役員会諸規定を正式に承認決定させました。個々の規定概要は次のとおりです。(全部設置及び運営に関する規定)この規定に基づいて既に関東支部が承認され支店運営がなされており、同一地域内での同窓生の横の繋がりが促進されつつあります。設立に際し、本部からの助成を行います。《六條会代議員選出規定》この中には、代議員は、卒業年、学年、などから可能な限り偏らぬように考慮して選出することが述べられています。

六條会役員会顧問選出規定(六條会役員会顧問選出規定)前副会長の東順三氏、田中平義氏が六條会の役員会顧問に就任されました。六條会交際費に関する規定(六條会交際費に関する規定)本会の発展並びに他の同窓会等との連携を図る上で必要な活動を行う役員に、定められた限度内で交際費の執行が認められました。その他六條会会費徴収規定、六條会会費徴収規定、海外学術活動補助規定を施行することになりました。とくに現役学生の六條会会員が学術活動(学会発表)で海外に渡航するに際しての活動補助が新規定のもとでは可能になり現に執行致しました。これら諸規定が整えられたおかげで、以前は場当たり的になりやすかつた活動が全体的に組織化の方向が試行され、新しく役員になられたも活動基準が明文化されたためやりやすくなったと思われまふ。

平成11年には農学部創立50周年事業が農学部との共催でとり行なわれます。本計画を4月以來立案してまいりました。この点はそれぞれ担当の方々の記事をぜひ御一読ください。

先六條会会報で報告しましたように、神戸大学の各学部の同窓会、つまり文学部同窓会、紫陽会(教育学部・発達科学部・経済学)、経営学部・法学部、理学部同窓会、神緑会(医学部)、工学部同窓会、六條会及び翔鶴会(国際文化学部)からなる学友会があります。会長は元学長の野野幸次郎先生で、六條会からは、前会長の西川欣一先生が幹事として、また新会長先生が幹事として参加しております。

これまで、学友会は年2回程度開催されてきましたが、主として神戸大学創立百周年記念事業の一端として、毎年記念事業準備金の積立を続けており、六條会は10万円を拠出しております。記念事業の内容については、大学側の企画が纏まり次第、幹事会を開催して対処することになっております。

場所は、神戸ハーバーランド、オーガスタプラザ17階、ザ・ハーバースカイ。特典は、飲食代金の割引のほか、KUC主催の親睦会、講演会、ビアパーティーなど、その他各施設の割引があります。会費は、入会金1万円、年会費6千円。運営については、各学部の同窓会から3名が選出された運営委員会によって、毎年新しい事業を企画し、開催されています。

六條会への連絡 会員の皆様からの本会への御連絡を主としてFAXで受付けております。また、コンピュータの導入に伴い、新たにEメールでの受付も行う予定です。住所や連絡先の変更、また本会に対する御要望、御意見など御待ちしております。なお、御連絡の際には、卒業年次および所属学部を合わせてお伝え頂くとお願い申し上げます。 FAX 078-811-2752 E-mail:tkksou@ans.kobe-u.ac.jp

平成10年度一般会計予算

Table with 3 columns: 項目, 予算額, 備考. Includes items like 入会金, 前年度繰越金, 雑収入, 合計.

Table with 3 columns: 項目, 予算額, 備考. Includes items like 農学部・農場活動補助費, 一般事業費, 各種活動援助, 学生図書, 卒業記念祝賀会, 一般事務費, 会議費, 旅費, 慶弔費, 交際費, 褒章費, 役員手当, 神大友会経費, 予備費, 合計.

脚注1) 預金利子を含む 脚注2) 支部設立補助金、六甲祭奨励、農学部マラソン大会補助など 脚注3) 郵送料、電話代、アルバイト代、コンピュータ代金(約40万)を含む 脚注4) 代議員総会、総会、役員会、幹事会 脚注5) 六條会活動費、学友会活動費、KUC活動費 脚注6) 常任幹事(5万円)×9人、役員(1万円)×9人 脚注7) 神戸大学100周年記念事業積立金、学友会年会費

平成10年度学術振興事業予算

Table with 3 columns: 項目, 予算額, 備考. Includes items like 前年度繰越金, 雑収入, 合計.

Table with 3 columns: 項目, 予算額, 備考. Includes items like 学術振興事業, 海外学術活動補助, 学術活動援助, 予備費, 保留金, 合計.

脚注1) 預金利子など 脚注2) 学術講演会補助20件

平成9年度一般会計決算報告書

Summary table with 4 columns: 収入の部, 支出の部, 差引残高. Values: 8,015,870, 6,789,492, 1,226,378.

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 決算額, 増減(-:減), 備考. Includes items like 入会金, 預金利子, 雑収入, 学術振興基金からの繰入, 名簿売り上げ代金, 前年度繰越金, 合計.

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 決算額, 増減(-:減), 備考. Includes items like 農学部・農場活動補助費, 一般事業費, 一般事務費, 会議費, 旅費, 慶弔費, 神大友会経費, 予備費, 支出計, 次年度繰越金, 合計.

脚注1) 3000円×164名分 脚注2) 農学部給食がきり上げ、学生の御家族より寄付、役員会会費 脚注3) 3000円×3名分 脚注4) 農学部環境美化、農場さなび祭奨励 脚注5) 会報発行、学生図書購入、卒業祝賀会奨励、六條会関東支部設立奨励、共同開発センター創立10周年記念行事奨励、六甲祭奨励、東海近畿地区国立大学農学部事務連絡協議会奨励、農学部マラソン大会補助 脚注6) 名簿買い取り代金、農学部紹介印刷費、卒業証書郵代金、郵送料、常任幹事手当、アルバイト代など

平成9年度学術振興基金決算報告書

Summary table with 4 columns: 収入の部, 支出の部, 差引残高. Values: 35,980,756, 3,140,000, 32,840,756.

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 決算額, 増減(-:減), 備考. Includes items like 預金利子, 前年度繰越金, 合計.

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 決算額, 増減(-:減), 備考. Includes items like 海外学術活動援助, 学術活動援助, 一般会計へ繰入, 予備費, 支出計, 保留金, 合計.

脚注1) 8万円×4件+4万円×1件 脚注2) 講演会(2万円×9件+国際シンポジウム1件)

神戸大学農学部教官現員表 (平成10年10月現在)

Large table listing faculty members with columns for 付属農場, 学 科, 講座名, 教育研究分野, 教授, 助教, 助手. Lists various departments like 付属農場, 生物機能化学科, 生物環境制御学科, etc.

()内は旧学科、講座名、*は自然科学研究科専任教官を示す。

兵 C 13
兵 C 12
兵 C 10
兵 C 10
兵 C 9

兵 C 3
兵 C 2
兵 C 2
兵 P 17

兵 A 15
兵 A 13

兵 A 11
兵 A 10

兵 A 10

兵 A 7
旧教官
旧教官

兵 A 8

住所等変更のあった人

おわび

平成9年度同窓会名簿から以下の方が脱落しております。慎んでお詫びを申し上げます。

神 A 24
神 A 23
神 A 23

神 A 22
神 A 22
神 A 21

神 A 14
神 A 13
神 A 10

鶴 3
兵 Z 17

兵 Z 16
兵 Z 12
兵 Z 11

兵 Z 9
兵 Z 5

兵 C 14

神 P 12
神 B C 20

神 C 22

神 C 9

神 C 4
神 T 26

神 T 20
神 T 13

神 T 5
神 T 5

神 T 4

神 T 1
神 A 26

神 Z 22
神 Z 22

神 Z 18
神 Z 17

神 Z 16
神 Z 10

神 Z 10
神 Z 8

神 Z 8
神 Z 6

神 Z 4
神 Z 1

神 Z 1
神 P 16

神 P R 28

博前 24

修 20

修 18

修 11

修 8

修 6

神 Z 27

神 Z 25

神 Z 25

神 Z 25

神 Z 24

神 Z 24

神 Z 22

不明者一覧

以下の方々の連絡先が不明となっております。ご存知の方は同窓会事務局までご連絡ください。

特別会員 旧教官 専門部旧教官	第15回生 (昭和42年3月卒)	第16回生 (昭和43年3月卒)	第17回生 (昭和44年3月卒)	旧兵庫農科大学 教養部 教官	第17回生 (昭和44年3月卒)	第16回生 (昭和43年3月卒)	植物防疫学科 第16回生 (昭和43年3月卒)	第17回生 (昭和44年3月卒)	旧兵庫農科大学 旧教官	第15回生 (昭和42年3月卒)	第16回生 (昭和43年3月卒)	第17回生 (昭和44年3月卒)	兵庫農科大学 農学科 第2回生 (昭和29年3月卒)	第3回生 (昭和30年3月卒)	第4回生 (昭和31年3月卒)	第5回生 (昭和32年3月卒)	第6回生 (昭和33年3月卒)	第7回生 (昭和34年3月卒)	第8回生 (昭和35年3月卒)	第9回生 (昭和36年3月卒)	第10回生 (昭和37年3月卒)	第11回生 (昭和38年3月卒)	第12回生 (昭和39年3月卒)	第13回生 (昭和40年3月卒)	第14回生 (昭和41年3月卒)	第15回生 (昭和42年3月卒)	第16回生 (昭和43年3月卒)	第17回生 (昭和44年3月卒)	第18回生 (昭和45年3月卒)	第19回生 (昭和46年3月卒)	第20回生 (昭和47年3月卒)	第21回生 (昭和48年3月卒)	第22回生 (昭和49年3月卒)	第23回生 (昭和50年3月卒)	第24回生 (昭和51年3月卒)	第25回生 (昭和52年3月卒)	第26回生 (昭和53年3月卒)	第27回生 (昭和54年3月卒)	第28回生 (昭和55年3月卒)	第29回生 (昭和56年3月卒)	第30回生 (昭和57年3月卒)	第31回生 (昭和58年3月卒)	第32回生 (昭和59年3月卒)	第33回生 (昭和60年3月卒)	第34回生 (昭和61年3月卒)	第35回生 (昭和62年3月卒)	第36回生 (昭和63年3月卒)	第37回生 (昭和64年3月卒)	第38回生 (昭和65年3月卒)	第39回生 (昭和66年3月卒)	第40回生 (昭和67年3月卒)	第41回生 (昭和68年3月卒)	第42回生 (昭和69年3月卒)	第43回生 (昭和70年3月卒)	第44回生 (昭和71年3月卒)	第45回生 (昭和72年3月卒)	第46回生 (昭和73年3月卒)	第47回生 (昭和74年3月卒)	第48回生 (昭和75年3月卒)	第49回生 (昭和76年3月卒)	第50回生 (昭和77年3月卒)	第51回生 (昭和78年3月卒)	第52回生 (昭和79年3月卒)	第53回生 (昭和80年3月卒)	第54回生 (昭和81年3月卒)	第55回生 (昭和82年3月卒)	第56回生 (昭和83年3月卒)	第57回生 (昭和84年3月卒)	第58回生 (昭和85年3月卒)	第59回生 (昭和86年3月卒)	第60回生 (昭和87年3月卒)	第61回生 (昭和88年3月卒)	第62回生 (昭和89年3月卒)	第63回生 (昭和90年3月卒)	第64回生 (昭和91年3月卒)	第65回生 (昭和92年3月卒)	第66回生 (昭和93年3月卒)	第67回生 (昭和94年3月卒)	第68回生 (昭和95年3月卒)	第69回生 (昭和96年3月卒)	第70回生 (昭和97年3月卒)	第71回生 (昭和98年3月卒)	第72回生 (昭和99年3月卒)	第73回生 (平成元年3月卒)	第74回生 (平成元年3月卒)	第75回生 (平成元年3月卒)	第76回生 (平成元年3月卒)	第77回生 (平成元年3月卒)	第78回生 (平成元年3月卒)	第79回生 (平成元年3月卒)	第80回生 (平成元年3月卒)	第81回生 (平成元年3月卒)	第82回生 (平成元年3月卒)	第83回生 (平成元年3月卒)	第84回生 (平成元年3月卒)	第85回生 (平成元年3月卒)	第86回生 (平成元年3月卒)	第87回生 (平成元年3月卒)	第88回生 (平成元年3月卒)	第89回生 (平成元年3月卒)	第90回生 (平成元年3月卒)	第91回生 (平成元年3月卒)	第92回生 (平成元年3月卒)	第93回生 (平成元年3月卒)	第94回生 (平成元年3月卒)	第95回生 (平成元年3月卒)	第96回生 (平成元年3月卒)	第97回生 (平成元年3月卒)	第98回生 (平成元年3月卒)	第99回生 (平成元年3月卒)	第100回生 (平成元年3月卒)
-----------------------	---------------------	---------------------	---------------------	----------------------	---------------------	---------------------	-------------------------------	---------------------	----------------	---------------------	---------------------	---------------------	-------------------------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	---------------------

寄付者名簿

次の方々から早々に50周年記念事業に関わる募金を頂きました(平成10年10月13日現在)。ここに厚くお礼を申し上げます。

Table of donor names organized by family name (e.g., 植田, 岩谷, 伊吹, 井上, etc.), including names of individuals and their affiliated companies.

編集後記

六篠会会員の皆様がお過ごしかつたか。本年も六篠会報をお届けする時期となりました。平成11年をもって神戸大学農学部は創立50周年を迎えるにいたり、本当に喜ばしいことだと思っております。本号は農学部創立50周年記念号として発行いたしました。そこで本号ではいろいろの方々に執筆していただき、兵庫農科大学から現在の農学部に至るまでどのような経緯があったのか、新しい会員の方にも読み取っていただければと思います。また、50周年に関わる記念行事が篠山や六甲台で催されますので、久しぶりに母校を訪ねられてはいかげでしょうか。これを機会に同窓生の友好を深めていただければ、会報編集としてこれほど喜ばしいことはありません。同窓会事務局への連絡も昨年のFAX設置に続き、FAXによる連絡も可能となりましたので、多くのご意見を頂ければ幸いです。また、住所変更等も受け付けておりますので、その際にはご連絡ください。それでは最後に、同窓会の方々の健康と活躍をお祈り申し上げます。